



# 2024年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年8月4日

上場会社名 株式会社 アドバンス・メディア  
コード番号 3773 URL <https://www.advanced-media.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 鈴木 清幸

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 経営推進本部長 (氏名) 立松 克己

TEL 03-5958-1031

四半期報告書提出予定日 2023年8月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	1,229	15.6	136	13.6	154	10.1	100	3.8
2023年3月期第1四半期	1,063	18.2	120	116.2	140	133.0	104	371.0

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 227百万円 (11.8%) 2023年3月期第1四半期 203百万円 (1,672.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	6.50	6.49
2023年3月期第1四半期	5.67	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	14,965	9,697	64.6
2023年3月期	14,828	9,707	65.2

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 9,662百万円 2023年3月期 9,668百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		16.00	16.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2024年3月期の配当予想については、現時点で未定であります。

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,000	15.8	1,200	11.0	1,200	7.0	900	3.7	58.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期1Q	18,392,724 株	2023年3月期	18,392,724 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2024年3月期1Q	2,931,933 株	2023年3月期	2,939,433 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期1Q	15,455,020 株	2023年3月期1Q	18,392,591 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(重要な後発事象) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループは、2023年3月期までをBSR展開期、2026年3月期までをBSR拡大期とし、BSR拡大期の最終年度では売上高100億円、営業利益率30%の実現を目指しております。

そのような計画のもと、当連結会計年度につきましては、BSR展開期最終年度で伸ばさせた既存のフロー&ストックビジネスを土台に、展開中のAmiVoiceエンジン・プラットフォーム（ACP含む）に加え、営業業務の支援、文字起こし業務支援、DX化支援等の各種プラットフォームを市場へ導入することでBSR拡大への足掛かりを築くといった役割を果たしてまいります。

当第1四半期においては、各企業における業務効率化にともなうDX推進のニーズに対してAI音声認識AmiVoice®の各種製品が幅広い分野で伸ばいたしました。また、BSR展開期に取り組んだストックビジネスの売上比率の向上によって増収増益し売上高、営業利益、経常利益において第1四半期過去最高を実現することができました。

売上高に関しましては、BSR1（第一の成長エンジン）において、CTI事業部、VoXT事業部、医療事業部が増収し前年同期比14.2%増、BSR2（第二の成長エンジン）においても、BDC本部（旧ビジネス開発センター）が増収し前年同期比28.5%増となりました。その結果、当社グループ全体では、前年同期比15.6%の増収となりました。

損益に関しましては、営業利益につきまして、BSR1（第一の成長エンジン）において、VoXT事業部が前年同期比で51.6%の増益、BSR2（第二の成長エンジン）においては、赤字幅を減少させました。その結果、当社グループ全体では、前年同期比で13.6%の増益となりました。営業利益の増益により経常利益も増益し、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期並みとなりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間においては、売上高1,229百万円（前年同期は売上高1,063百万円）、営業利益136百万円（前年同期は営業利益120百万円）、経常利益154百万円（前年同期は経常利益140百万円）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益100百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益104百万円）となりました。

音声事業の各分野別の状況は、以下のとおりであります。

#### BSR1の状況（連結調整前）

	売上高	（前年同期比）	営業利益	（前年同期比）
BSR1（第一の成長エンジン）	1,100百万円	14.2%増	173百万円	2.4%増

#### CTI事業部（BSR1）

大手SIerを中心とした販売パートナーと連携しコンタクトセンター向けAI音声認識ソリューション「AmiVoice® Communication Suite」の導入が堅調に推移しました。また、「AmiVoice® Communication Suite」とジェネシスクラウドサービス株式会社のシステムを連携させるなど開発パートナーとの連携を進めました。また、OpenAI社が提供する会話生成AI「ChatGPT」と連携させたAI音声対話アバター「AI Avatar AOI」が、茨城県公認VTuber「茨ひより」に採用されました。

ストック比率：前期末66.3%→当第1四半期末81.8%

ライセンス数（累計）：前期末66,730→当第1四半期末68,517

#### VoXT事業部（BSR1）

AI音声認識AmiVoice®を活用した議事録作成・文字起こし支援アプリケーション/サービスの需要が増大し、ユーザー数が増加いたしました。また、OpenAI社の大規模言語モデルGPT-3.5/4を活用した要約システムを開発し取手市での試行を開始するなど、製品やサービスの付加価値向上に繋がる機能の開発に取り組みました。

ストック比率：前期末91.6%→当第1四半期末96.0%

主力2製品のライセンス数：前期末2,792→当第1四半期末3,076

#### 医療事業部（BSR1）

2024年4月から開始される「医師の働き方改革」で、医師の勤務時間の適正化に向けた取り組みが必要となっております。それにともない、病院における医師や看護師、医療従事者の生産性向上へのニーズが高まっており、主力製品であるAI音声入力ソフト「AmiVoice® Ex7」シリーズや医療向けAI音声認識ワークシェアリングサービス「AmiVoice® iNote」の提案を進めました。

ストック比率：前期末32.0%→当第1四半期末41.6%

ライセンス数（累計）：前期末49,398→当第1四半期末49,722

## SDX事業部 (BSR1)

AI音声認識APIなどを提供するボイステックプラットフォーム「AmiVoice® Cloud Platform (ACP)」が、株式会社リコーのWeb会議デバイスを利用した議事録作成支援サービスなどに採用され、利用企業数・利用時間数が増加しました。

ストック比率：前期末70.8%→当第1四半期末87.9%

API及びSDKのユーザー数（累計）：前期末2,870→当第1四半期末3,091

## BSR2の状況（連結調整前）

	売上高	(前年同期比)	営業利益	(前年同期比)
BSR2 (第二の成長エンジン)	134百万円	28.5%増	△38百万円	—

## BDC本部（旧ビジネス開発センター）・海外事業部 (BSR2)

BDC本部は、建設業界向け建築工程管理のプラットフォームサービス「AmiVoice® スーパーインスペクションプラットフォーム (SIP)」のユーザー数を増加させるとともに、同サービスを活用した人材サービス「AISHサービス」の利用が増加いたしました。

ライセンス数（累計）：前期末44,162→第1四半期末46,566

海外事業部は、収益改善を進め赤字幅を縮小させました。

## 連結子会社等 (BSR2)

AMIVOICE THAI CO., LTD. (タイ王国) は、主要顧客に対する案件獲得を進めました。

株式会社速記センターつくばは、自治体向け・裁判所向け・民間向け案件の受注獲得等を進めました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は9,601百万円となり、前連結会計年度末に比べ33百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が425百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が323百万円、預入期間満了により金銭の信託が200百万円減少したことによるものであります。固定資産は5,364百万円となり、前連結会計年度末に比べ170百万円増加いたしました。これは主に投資有価証券が取得や評価替えにより202百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、14,965百万円となり、前連結会計年度末に比べ137百万円増加いたしました。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は2,702百万円となり、前連結会計年度末に比べ339百万円増加いたしました。これは主に未払法人税等が145百万円減少したものの、売上等に関する前受金が460百万円増加したことによるものであります。固定負債は2,565百万円となり、前連結会計年度末に比べ192百万円減少いたしました。これは長期借入金が192百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、5,268百万円となり、前連結会計年度末に比べ147百万円増加いたしました。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は9,697百万円となり、前連結会計年度末に比べ10百万円減少いたしました。これは主にその他有価証券評価差額金131百万円増加、親会社株主に帰属する四半期純利益100百万円及び剰余金の配当247百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は64.6%（前連結会計年度末は65.2%）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年5月12日付で公表した連結業績予想に変更はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,755,655	8,180,840
受取手形及び売掛金	945,464	621,774
金銭の信託	200,000	-
電子記録債権	21,597	29,471
商品及び製品	66,250	101,014
仕掛品	6,648	9,158
原材料及び貯蔵品	50,952	50,013
未収入金	16,901	35,126
預け金	48,989	150,000
その他	522,516	424,181
貸倒引当金	△671	△532
流動資産合計	9,634,307	9,601,049
固定資産		
有形固定資産		
建物	248,597	248,597
減価償却累計額	△60,841	△65,325
建物(純額)	187,756	183,272
その他	377,515	388,334
減価償却累計額	△273,764	△284,423
減損損失累計額	△13,134	△13,470
その他(純額)	90,616	90,440
有形固定資産合計	278,372	273,713
無形固定資産		
ソフトウェア	549,512	563,371
ソフトウェア仮勘定	81,210	85,856
その他	115	115
無形固定資産合計	630,838	649,343
投資その他の資産		
投資有価証券	2,105,488	2,308,023
敷金及び保証金	205,405	215,353
長期前払費用	476,969	456,484
金銭の信託	956,950	975,100
繰延税金資産	218,953	160,942
破産更生債権等	-	21,835
その他	333,461	325,832
貸倒引当金	△12,355	△21,835
投資その他の資産合計	4,284,873	4,441,736
固定資産合計	5,194,084	5,364,793
資産合計	14,828,392	14,965,842

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	66,761	40,879
未払金	117,435	172,142
未払法人税等	217,873	72,733
前受金	1,027,918	1,488,200
1年内返済予定の長期借入金	768,480	768,480
賞与引当金	25,081	5,420
その他	139,178	154,859
流動負債合計	2,362,729	2,702,714
固定負債		
長期借入金	2,680,160	2,488,040
資産除去債務	77,710	77,750
固定負債合計	2,757,870	2,565,790
負債合計	5,120,600	5,268,505
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,930,315	6,930,315
資本剰余金	5,727,668	5,734,264
利益剰余金	161,689	14,854
自己株式	△2,791,137	△2,784,015
株主資本合計	10,028,536	9,895,418
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△364,982	△233,539
為替換算調整勘定	4,494	360
その他の包括利益累計額合計	△360,487	△233,178
新株予約権	39,743	35,097
純資産合計	9,707,792	9,697,337
負債純資産合計	14,828,392	14,965,842

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	1,063,581	1,229,186
売上原価	273,014	330,227
売上総利益	790,567	898,958
販売費及び一般管理費	670,225	762,306
営業利益	120,341	136,651
営業外収益		
受取利息	485	1,853
受取配当金	9,581	21,399
為替差益	9,874	6,304
雑収入	1,455	785
営業外収益合計	21,397	30,343
営業外費用		
支払利息	-	2,389
雑損失	879	386
貸倒引当金繰入額	-	9,480
支払手数料	257	-
営業外費用合計	1,136	12,256
経常利益	140,601	154,737
特別利益		
新株予約権戻入益	707	858
債務保証損失引当金戻入額	10,500	-
特別利益合計	11,207	858
税金等調整前四半期純利益	151,808	155,596
法人税等	47,465	55,179
四半期純利益	104,343	100,417
親会社株主に帰属する四半期純利益	104,343	100,417



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	104,343	100,417
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	100,137	131,442
為替換算調整勘定	△814	△4,134
その他の包括利益合計	99,323	127,308
四半期包括利益	203,666	227,725
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	203,666	227,725

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

また、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を用いた計算をしております。

(重要な後発事象)

(譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分)

当社は、2023年6月28日開催の取締役会において、譲渡制限付株式報酬として自己株式の処分（以下、「本自己株式処分」といいます。）を行うことについて決議し、以下のとおり、自己株式の処分を実施いたしました。

## (1) 処分の概要

①処分期日	2023年7月21日
②処分する株式の種類及び数	当社普通株式 60,000株
③処分価額	1株につき 1,910円
④処分総額	114,600千円
⑤株式の割当ての対象者及びその人数並びに割り当てる株式の数	取締役（社外取締役除く）4名 60,000株
⑥その他	本自己株処分については、金融商品取引法による有価証券届出書を提出しております。

## (2) 処分の目的及び理由

当社は、2019年5月24日開催の取締役会において、当社の社外取締役を除く取締役（以下「対象取締役」といいます。）と株主様との中長期的な価値共有を目的とした報酬制度実現のため、当社の対象取締役を対象とする譲渡制限付株式報酬制度（以下「本制度」といいます。）を導入することを決議し、また、2019年6月26日開催の第22回定時株主総会において、本制度に基づき、譲渡制限付株式取得の出資財産とするための金銭報酬（以下「譲渡制限付株式報酬」といいます。）として、対象取締役に対して、年額300百万円以内の金銭報酬債権を支給すること及び譲渡制限付株式の譲渡制限期間として3年間から10年間までの間で当社の取締役会が定める期間とすることにつき、ご承認をいただいております。